

# とよた市議会だより



## 目次

■ トップインフォメーション 決算審査について	2
■ 議案説明・討論	4
■ 議案審議結果	5
■ 常任委員会 付託案件を審査	6
■ 一般質問 市政を問う! 20人の議員が質問	8
■ トピックス	
令和3年7月市議会臨時会	12

### 表紙の写真(議案第103号)

稲武地区を流れる名倉川と、周辺の集落の様子です。

おいでん・さんそんプランの考え方を基本方針として、移住・定住、交流の促進、産業の振興、教育の振興など、様々な事業が盛り込まれた過疎地域持続的発展計画が策定されます。

## 定例会号

### 9月市議会

令和3年11月1日



# 決算審査について



## 決算とは

決算とは、1年間(4月～翌年3月)の収入と支出を整理したものです。9月定例会では、決算状況が議会へ報告され、予算に基づき、皆様からの税金が計画的に、適した目的のために使われていたか審査します。

市の会計は、主に一般会計と国民健康保険などの特別会計や、水道・下水道事業会計に分かれており、それぞれ審査します。(令和2年度一般会計決算内容については、4ページを参照ください。)

## 決算審査の流れ

### 本会議

提案説明

委員会付託

決算説明会

議案質疑

分科会審査案件決定

市側から決算案件の提出があります。

提出された決算案件について、予算決算委員会へ付託※をします。

※付託:案件の詳しい話し合いを委員会に委ねること。

各部局から2日間にわたり決算内容の説明を受けます。

次に、説明内容に関し、各会派等の委員が質問をします。

その後、さらに詳しく審査するため内容ごとに各分科会に振り分けられます。



# 予算決算委員会の役割

市議会では、提出された市の予算や決算の内容をチェックしています。

しかし、本会議での限られた時間の中で、予算や決算の内容を詳細に審査することは大変難しいことです。このため、本市議会では、議長を除く全議員で、予算決算委員会という詳しく話し合いをする会議を設置しています。さらに、予算決算委員会には、5つの分科会(企画総務分科会、地域生活分科会、教育社会分科会、環境福祉分科会、産業建設分科会)を置き、分担して細かく内容を審査しています。

予算決算委員会での話し合いの後、本会議で予算や決算を可決・認定するか否かを採決します。(9月定例会の採決結果については、5ページを参照ください。)

## 予算決算委員会

## 本会議

### 分科会

産業建設分科会

環境福祉分科会

教育社会分科会

地域生活分科会

企画総務分科会

分科会長報告

意見

採決

委員長報告

討論

議決

5つの分科会に分かれ、5日間にわたり担当する内容について、細かく審査します。



▲予算決算委員会(分科会)の様子

各分科会での審査経過を、分科会長が報告します。

続いて、各会派等の委員が意見を交わします。

その後、予算決算委員会として、審査案件の採決を行います。

予算決算委員会での審査結果を、委員長が報告します。

次に、各会派等の議員が賛成・反対の意見を述べ、他の議員に対し、賛同を求め討論を行います。

最後に決算案件の認定・不認定を採決します。



## 条例の一部改正など13議案を議決。そのほか承認案件などを審議

### 令和2年度一般会計決算を認定

#### 【承認第4号】一般会計決算

令和2年度歳入決算額は、2,532億9,869万円(対前年度比508億7,118万円の増)となりました。主な増加の要因は、特別定額給付金給付事業をはじめとした国庫支出金(対前年度比483億9,985万円の増)などです。

歳出決算額は、2,394億5,963万円(対前年度比521億3,500万円の増)となりました。主な増加の要因は、特別定額給付金給付費の皆増、豊田地域医療センター再整備費の増などです。

財政の健全性を示す指数は、経常収支比率77.1%、自主財源比率58.6%であり、健全化判断比率の各比率は、健全性の高いものとなっており、依然として健全な財政構造を保持している状況といえます。

## 討 論

9月市議会定例会の最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等の議員が賛成・反対の意見を述べ、賛同を求めました。\*発言順に記載

### 根本 美春 諸 派

**令和2年度一般会計決算は、小規模事業者や市民の困窮への対策を優先すべきであったとして、反対**

承認第4号:反対。歳入の市民税のうち法人市民税では、1号法人のうち4,149事業所は、法人税割の税金を納められていない。小規模事業者への抜本的な対策が必要。原子力発電関係の電源立地地域対策交付金は、平成14年度からの受け取り総額は5億1,000万円余で、全額返納すべき。歳出のうち、職員の人件費は、市職員の非正規化が改善されず、職員定数の拡大が必要。豊田スタジアムを中心とした中央公園費では、市の持ち出し分は8億1,100万円余で、税金の使い方への検討が必要である。以上のことから、反対。

### 杉本 寛文 自民クラブ

**令和2年度一般会計決算は、新型コロナウイルス感染症への対策等、有効な施策が見られたことから、賛成**

承認第4号:賛成。歳入は前年度508億円余増の2,532億円余、歳出は同じく521億円余増の2,394億円余となった。新型コロナウイルス感染症の対策において、特別定額給付金の支給や中小企業等雇用調整補助金の支給等、対策や支援策の展開が的確に対応されたことを評価。都市基盤整備に関わる普通建設事業費においても460億円余となり、安全・安心なまちづくりが推進された。GIGAスクール構想に基づいた学習環境の整備も高く評価することから、賛成。

### 塩谷 雅樹 市民フォーラム

**固定資産税の課税免除の特例に関する条例は、企業進出や雇用につながることを期待されることから、賛成**

議案第102号:賛成。新過疎法の施行により、3年間の経過措置として地方税課税免除等の激変緩和措置を受けるため、豊田市過疎地域持続的発展計画を定めるとともに、本条例の制定に至ったことを確認した。この経過措置が、対象地域への企業進出や既存産業の設備投資と、地域住民の雇用につながり、産業振興の促進がおいでん・さんそんプランの取組に寄与することで、持続可能な山村地域の取組が推進していくことを期待して、賛成。

### 田代 研 公明党

**多様な集団活動事業利用支援給付費は、狭間にあった世帯への支援になることから、賛成**

議案第95号:賛成。令和3年度一般会計補正予算について、10款1項4目私学振興費のうち、多様な集団活動事業支援給付費は、令和3年度子ども・子育て支援交付金の補助メニューの追加により、多様な活動・施設利用に対する経済的支援が可能となることで、幼児教育・保育の無償化制度の狭間にあった世帯への支援が開始されることを評価し、賛成。

### 岡田 耕一 諸 派

**花本産業団地拡張用地の企業立地は、新たな税収と雇用が見込まれることを評価して、賛成**

議案第99号:賛成。花本産業団地拡張用地への企業立地の税収としての効果は、立地計画概要書等に基づき試算すると、入居予定企業5社で、固定資産税、都市計画税を合わせて年間2億円を超える税収とともに、法人市民税などが期待される。雇用創出についても、5社合計で正規従業員50人、パート従業員231人の新規雇用が見込まれる。これらの点を評価して、賛成。

### 中島 竜二 諸 派

**緑のリサイクルセンター改修工事は、施設全体における改修効果が確認できたことから、賛成**

議案第96号:賛成。ごみの量が増加傾向にある中、緑のリサイクルセンターの改修工事により、処理能力が現状の年間2,480トンから年間3,800トンに向上。堆肥の生産量の増加及び堆肥化製品の品質確保、施設全体での長期的な安定稼働など様々なメリットがあることを確認。工事期間中も刈草や剪定枝の受け入れは継続し、外部の処理施設へ搬出処理を行うため、改修工事による市民への影響は特にないと確認でき、賛成。



# 議案審議結果

～とよた市議会だより～

令和3年

9月  
定例会号

※議案名など一部省略して記載しています

## 9月市議会定例会に提出された案件

採決結果	議案	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く								
		自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
	<b>◆議案</b>									
	第91号 個人情報保護条例及び個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	2	1
	92 公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	93 体育施設条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	94 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	95 令和3年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	96 工事請負契約の締結(緑のリサイクルセンター改修工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	97 // (豊田スタジアム長寿命化改修工事(その2))	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	98 工事の施行に関する協定の締結(豊田土橋土地区画整理事業雨水管設置工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	99 財産の処分(花本産業団地拡張用地)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	100 和解の成立(土地収用裁決申請事件)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	101 公の施設の区域外設置に関する協議((仮称)豊田花園土地区画整理事業4号公園)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	102 過疎地域の持続的発展に係る固定資産税の課税免除の特例に関する条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	103 過疎地域持続的発展計画の策定	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	<b>◆承認</b>									
	第4号 令和2年度一般会計決算	認定	27	0	10	0	4	0	2	1
	5 // 国民健康保険特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
	6 // 都市計画事業土地区画整理特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	7 // 分譲住宅建設事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	8 // 卸売市場特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	9 // 水道水源保全事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	10 // 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	11 // 介護保険事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
	12 // 財産区特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	13 // 後期高齢者医療特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
	14 // 産業用地造成事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	15 // 水道事業会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	16 // 下水道事業会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	<b>◆同意</b>									
	第4号 教育委員会委員の選任(再任:佐伯英恵氏)	同意	27	0	10	0	4	0	3	0
	5 固定資産評価審査委員会委員の選任(再任:白鳥亜紀氏、中根金良氏、光岡新吾氏 新任:鈴木秀幸氏、矢頭正浩氏、渡邊年廣氏)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	<b>◆報告</b>									
	第8号 経営状況の報告(土地開発公社はじめ18法人)									
	9 専決処分の報告(損害賠償額の決定7件、訴えの提起1件、工事請負契約の変更3件、補正予算2件)									
	10 令和2年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告									
	<b>◆陳情</b>									
	第1号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書									
	2 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書									
	3 私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために豊田市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書									
	4 ミャンマー国軍による自国民への弾圧・暴力の即時停止を日本政府が働きかけるよう求める意見書を豊田市議会から提出することを求める陳情書									



## 常任委員会とは

常任委員会は、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び請願等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会です。本市では、以下の6つの委員会が常任委員会となります。

## 産業建設 委員会

9月15日、付託された5議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

【第97号】 工事請負契約の締結  
(豊田スタジアム長寿命化改修工事(その2))

**質問** 本工事が終了するまでの間の、当該施設利用者への影響はどのようなか。

**答弁** 工事については、原則として、ピッチを利用するイベント等がない時期に行うこととしている。このことから、現時点では大規模なイベント開催等に当たって施設利用者への影響はないと考えているが、貸館等に供している諸室については一定期間使用できない状況が発生することも想定されるため、施設管理者等と詳細な調整を進め、施設利用者への影響が最小限となるよう努めていく。

【第99号】 財産の処分  
(花本産業団地拡張用地)

**質問** 用地分譲募集に際して開催した現地説明会への参加企業の数と、そこから見える今後の産業用地の需要をどのように捉えているか。

**答弁** 令和3年2月から4月において実施した現地説明会には、製造業を中心に延べ23社の企業の参加があった。現地説明会の参加状況を踏まえると、新型コロナウイルス感染症の影響で、景気の先行きへの不透明感が拡大する中においても、本市の産業用地の需要が一定数あることを確認することができた。  
また、参加企業の約7割が自動車関連企業であり、取引先への近接性を重視していることを伺うことができた。

## 環境福祉 委員会

9月16日、付託された1議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第96号】 工事請負契約の締結  
(緑のリサイクルセンター改修工事)

**質問** 今回の施設改修により、今までと大きく変更となる点は何か。

**答弁** 大きな変更点は、発酵方式を変更することである。現在は機械式攪拌機による発酵を行っているが、改修工事後は、重機を使用しての攪拌方式に変更し、攪拌できる堆肥の量を増加させる。また、発酵に必要な空気を堆肥に供給する給気管を全面更新し、空気の吹き出し方法を変更することで現状の課題である閉塞による空気供給不足を解消する。これらのことにより、年間の処理可能量を増加させる見込みである。

**質問** 業者から提出された技術提案に対して、どのような項目で評価を行い、落札者となった業者はどの項目で点数が高かったのか。

**答弁** 提出された技術提案書は、外部有識者2名を含む5名の委員で構成される選考委員会において、処理可能量、製品品質、運転・維持管理の工夫、施工時の安全性確保、環境負荷低減策、地元貢献、施工実績などの項目を評価した。落札事業者は類似資源化施設の建設及び運転管理を複数実施しており、その実績に基づき生産量及び品質を確保した安定稼働への信頼性を高く評価し、落札者決定に至った。

## 教育社会 委員会

9月17日、付託された2議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

【第93号】 体育施設条例の一部を改正する条例

**質問** 条例の改正によって、現在直営となっている岩倉運動広場を指定管理者に委託するねらいはどのようなか。

**答弁** 岩倉運動広場は、新設する松平体育館と同じ地域にある。このことから、2つの施設を指定管理施設として一体的に管理することにより、利用者満足度の向上と利用促進を図ることを目指している。

**質問** 松平体育館において使用料を設定しているが、その考え方はどのようなか。

**答弁** 松平体育館の競技場の使用料は、他の体育館の維持管理費用の平均及び面積を用いて算出している。  
屋根付き運動広場は、類似施設がないことから、屋根がある競技場と同じ方法で算出したうえで、他のテニスコートと同じく1時間単位で設定している。

## 地域生活 委員会

地域生活委員会には、今回付託された議案はありませんでした。



# 委員会

## 企画総務 委員会

9月22日、付託された4議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

【第102号】過疎地域の持続的発展に係る固定資産税の課税免除の特例に関する条例

**質問** 新規制定条例において、設備投資額の引下げ及び業種の拡大がされたのはどのような理由か。

**答弁** 旧条例は、旧法である過疎地域の自立促進特別措置法及び租税特別措置法に根拠を置いていた。新条例では、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法及び改正後の租税特別措置法に根拠を置いている。

新条例における設備投資額の引き下げ及び業種の拡大は、これらの法令に合わせて改正を行ったものである。

【第103号】過疎地域持続的発展計画の策定

**質問** 基本方針の5つ目で「持続可能な地域経営の推進」を定めているが、実現に向けた具体的な取組をどのように考えているか。

**答弁** 基本方針の1つである「持続可能な地域経営の推進」については、令和3年3月に策定したおいでん・さんそんプランにおいても、主要な取組として位置付け、医療、福祉、教育、産業など暮らしの基盤となる様々な取組を、山村地域の支所も含め、関連する部局間の連携を図りつつ、進めていくことが重要だと考えている。

具体的な取組として、移住定住施策に加え、本年度は、稲武地区における地域貢献型ワークスペースの試行事業や県立足助高等学校の魅力化に向けた取組などを進めており、今後も持続可能な山村地域づくりに必要な事業を進めていく。

## 予算決算 委員会

9月9日から27日の間に、付託された補正予算1件、各会計決算13件を審査し、全ての案件を承認及び認定しました。

【承認第4号】令和2年度一般会計決算

**質問** 新型コロナウイルス感染症に関する情報については、ホームページを活用して発信力を強化しているが、ホームページ以外の媒体を使って工夫した点はどのようなか。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症に関する情報については、全ての広報媒体を最大限に活用して発信した。主な取組として、広報とよたでは、新型コロナウイルスの情報に特化した臨時号を発行し、緊急対策を始めとした各種情報をタイムリーに発信した。

SNSでは、公式LINEのトップ画面に新型コロナウイルスのメニューを設け、情報を探しやすいようにしたり、YouTubeを活用して市長メッセージを配信したりした。

ケーブルテレビの市政情報番組では、番組の冒頭で日々の感染者情報を報告するなど、従前の発信方法にとらわれることなく柔軟な対応に努めることで、発信力を強化した。

**質問** 新型コロナウイルスの検査に対し、正確性や速さなどが求められる中、令和2年度の取組の具体的な成果はどのようなか。

**答弁** 衛生試験所にリアルタイムPCR装置1台及び核酸自動抽出装置2台などの新型コロナウイルスの検査機器を増設して、検査需要の増加に対応できるよう検査能力を向上させた。

また、微生物検査担当以外の職員を育成し、新型コロナウイルスの検査が可能な職員を、3名から6名に増やした。その検査精度は、国により実施された精度管理事業において、衛生試験所の新型

コロナウイルスの検査結果は正確であることが確認されている。成果としては、令和2年度の新型コロナウイルスの検査は衛生試験所において5,575件実施し、迅速な陽性者の捕捉につなげ、感染拡大防止に貢献できたと考えている。

**質問** 豊田上郷スマートインターチェンジについて、令和2年度の取組内容と今後の予定はどのようなか。

**答弁** 令和2年度の取組内容は、スマートインターチェンジの開通に向け、出入口となる県道及び市道との交差点部の改良や、案内標識の設置などの工事を行うとともに、工事負担金によりNEXCO中日本が、ランプとなる市道の工事を行った。さらに、開通をPRするため、パンフレットやPR動画を作成し、記念式典を開催するなど広く周知を図った。

今後の予定としては、PR活動を継続し利用促進を図るとともに、整備効果の検証を行う。また、さらなる利用促進策として、特大車対応に向けインターチェンジ機能を強化する取組を進めていく。

**質問** 児童生徒用タブレットの自宅への持ち帰りの考え方やセキュリティ、いじめのツールにならないような対応はどのようなか。

**答弁** 家庭学習や家庭との連絡についても、学習用タブレットを効果的に活用できるよう、全ての学校が持ち帰りできるようにしている。

セキュリティの面では、インターネットについて、危険なサイトへの閲覧を防止し安全・安心に使用できるようフィルタリングによる制限をかけている。

また、いじめのツールとならないようチャット機能については、児童生徒は使用できないように設定している。オンライン会議やメッセージの投稿については、教員が複数人関わり、使用の様子や投稿の内容を全て把握できるようにしている。



# 市政を問う!

9月6日から8日にかけて、20人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

## 北川 敏 崇

自民クラブ



- 音楽文化の一翼を担う青少年音楽3団体の在り方
- (仮)第4次豊田市教育行政計画の策定

### 質 問 (仮)第4次計画の推進に向けて

教育大綱の実現に向けた本市教育の推進について、市長の思いを問う。

### 答 弁 市長

現在の大綱で掲げる理念や人物像は、次期大綱にも継承。「めざすべき教育の姿」を時代に合った形に改定するとともに、第4次教育行政計画を新たに策定する。少人数学級の更なる推進、タブレット端末の活用、部活動の改革などに重点的に取り組む。自分が認められ、自信と誇りを持って自分らしく生きることができる子どもたちが「不確実性の時代」を切り拓いていく。学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たすとともに、連携・共働し、大綱の下、積極的に取り組んでいく。

## 塩 谷 雅 樹

市民フォーラム



- 学び育む豊田市の教育

### 質 問 将来に向けた教育の取組

「未来を拓く学び合い」の実現に向けた次期教育行政計画への想いを問う。

### 答 弁 教育長

新型コロナウイルス感染症は、学校教育のあり方を根本から問い直すきっかけになった。様々な可能性を持つ次世代の教育の創造に向けて、特色ある豊田市の教育を進めたい。児童生徒が、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となり、また、学校で学んだことが、子どもたちの生きる力となって、その先の人生につながってほ

しい。子どもたちの学びを社会全体で応援できる計画となり、学校・家庭・地域が共に学び合いながら、未来を拓く子どもたちを育てていきたい。

## 鈴 木 章

自民クラブ



- 都心整備の現状と賑わい創出
- 良好な水辺利用と環境保全への取組
- 山村振興条例制定と山村の課題解決への方向性

### 質 問 山村振興条例と山村地域の課題解決への方向性

山村地域の課題解決への市長の考え方を問う。また、山村特有の課題の例として支障木伐採事業の今後の方向性を問う。

### 答 弁 市長

合併を契機に、従前の中央集権型から、より地域に密着して地域課題の解決に向けて細やかに進めていくため、地域分散・分権型の制度を導入。制度導入から20年近くが経つが、原点に立ち戻る必要がある。支障木伐採事業については、山村地域全体の課題であることから、地域予算提案事業としては取り扱わない方向で調整していく。ただし、事業実施に当たっては、地域との調整が不可欠なため、事業の進め方については、従前のとおりとしたい。今後、わくわく事業や地域予算提案事業については、柔軟な取り扱いの議論を深めていきたい。

## 石 川 嘉 仁

自民クラブ



- 第3次地域経営戦略プランの推進

### 質 問 市民のためのデジタル化と推進体制

デジタル弱者をつくらない、取り残さないための配慮が大変重要。デジタル弱者への配慮に対する考え方を問う。

### 答 弁 経営戦略部

デジタル技術の進展により、様々なサービスが便利になっていく流れは今後も加速していくもの考える。その反面、急速なデジタル化により、不安を持たれている市民もいて、デジタル弱者を生み出している。また、特に高齢者や障がい者の方々は、デジタル弱者になり得る可能性が高いとも認識。本市としては、デジタル強靱化戦略に基づき、デジタル技術を少しでもストレスなく利用してもらえるよう、高齢者向けのスマートフォンの利用方法に関する講習会の開催など、関係機関や関係部署と連携しながら、デジタル弱者対策に取り組む。

## 海 老 澤 要 造

自民クラブ



- 中学校の部活動改革
- 旧簡易水道地区の現状課題と災害時への対応

### 質 問 学校部活動と地域共働への課題

地域人材の「部活動指導員」を雇用するモデル校を増やすことが必要。平日への部活動指導員の導入を問う。

### 答 弁 教育部

部活動指導員は、平日も休日も教員と同様に部活動の指導や運営を行うことができる。教員へのアンケートでも、「部活動指導員の配置のおかげで負担が大きく減った」との回答が寄せられており、多忙化解消を図ることができる。令和3年度は10校に配置している。部活動指導員を増やすことが平日の教員の負担軽減につながることから、休日の地域部活動の指導者確保とともに、部活動指導員についても、募集方法を工夫するなど増員を目指していく。





※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

# 一般質問

## 板垣清志

自民クラブ



### ●本市の骨格となる道路ネットワーク

#### 質問 道路ネットワークの今後

高規格幹線道路の効率的な活用、高規格幹線道路網を補完するネットワーク強化に向けて、今後の取組を問う。

#### 答 弁 建設部

高規格幹線道路網の活用に向け、豊田上郷スマートインターチェンジの機能強化により物流を効率化し、インターチェンジへのアクセス性の向上を図るため、豊田刈谷線や国道301号線などの整備を促進する。加えて、幹線道路網の強化のため、環状道路である高橋細谷線や豊田南・北バイパス、災害時に物資輸送のルートとなる国道153号線を始めた中山間地域の国道・主要地方道などを整備促進する。また、ソフト面では、NEXCO中日本の観光施策である「速旅」の情報発信を行う。

## 深津秀仁

自民クラブ



### ●豪雨災害に対応する災害協定の強化 ○指定避難所の体制の充実

#### 質問 協定の強化に向けた取組

災害協定の巡視業務は、地域建設業者にとって分かりにくくなっている。協定の見直しについての考えを問う。

#### 答 弁 建設部

昨今の気象状況を鑑み、今後の大規模災害に対しても、迅速な現場対応が可能となり、また巡視業務を始めとして、より分かりやすく効率的な業務

が行われるよう協定内容を改善していくことが必要であると考えている。今後も引き続き、「豊田市公共土木施設防災安全協定」が適切に運用され、市民の安全・安心が守られるよう、地域建設業者への聴き取り調査を行うなど、協定内容の見直しを含めた調整を行っていく。

## 大石智里

公明党



### ●性の多様性を認め合う社会の実現

#### 質問 性の多様性を認め合う社会の実現への取組

市職員の適切な対応、性的マイノリティの職員が安心して働ける環境整備などの取組について市の見解を問う。

#### 答 弁 生涯活躍部

市職員が、市民や同僚に接する際には、自らが率先垂範となるよう、総務部と連携し、「性的マイノリティに関する理解促進対応ハンドブック」を作成するための準備を進める。このハンドブックは作成後に、市ホームページで公開し、民間企業等でも活用できるようにしていく。また、市職員に関する取組では、性的マイノリティのカップルを対象とした休暇制度や祝金給付制度を新設し、併せて、全職員を対象とした研修により理解促進を図っていく。

## 浅井保孝

自民クラブ



### ●子どもの読書による健全育成

#### 質問 学校における「読書」と「調べ学習」への取組

学校図書館においても、限られた財政の中で蔵書が更新されることが大切。今後どのように取り組まれていくのか問う。

#### 答 弁 教育部

学校図書館の本の更新については、各学校が必要な本を選び、学校規模に応じて配分された予算を使って毎年購入している。本の選定に当たっては、児童生徒からのリクエストや、教員が授業や調べ学習で活用したい本などから、学校図書館司書や司書教諭が中心となって選定し、バランスよく図書館に取り入れている。本の更新は、時代の変化に応じた、児童生徒の健全な教養を育成するうえで、重要なものと認識している。本を更新していくための予算の確保に努めていく。

## 宮本剛志

自民クラブ



### ●新型コロナ対策と今後の展開 ○山村地域の人口施策の強化

#### 質問 ワクチン接種の今後の展開

ワクチンの3回目接種など、先行きが正確に見通せない状況が続いているが、今後想定される課題について問う。

#### 答 弁 保健部

今後想定されることとしては、「ワクチンの3回目接種」を実施する可能性がある。実施の有無や内容について国から通知はないが、予想される課題は次の3つ。1つ目は2回目と3回目の接種間隔で、接種時期が人によって異なることから、適切な時期の接種券の配送や予約方法などの課題がある。2つ目はワクチンの種類で、1回目、2回目と同じワクチンにする場合は、どのように接種の体制を組んでいくかが課題となる。3つ目は接種体制であり、医療機関の協力がどの程度得られるか分からないなど、不明点が多い中で市には柔軟な対応が求められる。



# 市政を問う!

議員氏名  
会派名



- 一般質問の大きなテーマ(大項目)
- 以下の質問に関連している項目

## 寺田 康生

自民クラブ



- 認知症高齢者支援の取組
- 地域自治システムのコロナ禍の影響と更なる推進

### 質問 認知症の早期発見

現在の初期集中支援チームで全域をカバーするには足りない。初期集中支援チームの現在の活動、今後拡充する予定を問う。

### 答弁 福祉部

地域包括支援センターからの情報に基づき、支援に当たる。令和2年度は、67件の支援を行い、9割以上を医療や介護サービスにつなげた。一方で、事例によっては関係機関との調整等に時間を要し、チーム員に負担が掛かる場面もあった。今後については、地域包括支援センターのスキルアップを図り、相互の連携による身近で切れ目のない支援を充実させたい。現在、国において認知症初期集中支援チームの在り方を見直す議論もされており、その動向も見据えて判断していく。

## 山本 義勝

市民フォーラム



- 産業の構造変革への取組

### 質問 構造変革に対応する産業戦略

カーボンニュートラル技術を含めたマッチングを行えば、実現に大きく寄与すると考える。本市の見解を問う。

### 答弁 産業部

世界的に脱炭素化が進む中、本市主要産業である自動車産業も、サプライチェーン全体での脱炭素化が進められており、今後、カーボンニュートラルに関する新技術や新素材等は一層重要になる。近い将来、市内中小企業

でもカーボンニュートラルへの対応が必須になることを見据え、既に令和3年度から、開放特許マッチングで、カーボンニュートラルに関する技術も含めたマッチングを進めており、今後もマッチング事業を継続していく。

## 田代 研

公明党



- 教員の多忙化対策
- 保育士の多忙化対策

### 質問 教員のバーンアウト対策

教員の多忙が増している。多忙化対策と精神疲労を減らすために、教員等の増員が必要と考えるが、市の考えを問う。

### 答弁 教育部

本市は、国や県の教員定員を上回る基準で教員を配置してきた。今後も現場の声を聞きながら、より効率的な配置になるよう、増員について考えていく。学校現場を支援する様々な専門スタッフの効果を検証しながら、教員が生き生きと児童生徒と向き合うことができる環境の実現に向けて取組を進めていく。

## 榎屋 小百合

公明党



- ケアラー支援

### 質問 その他のケアラーへの支援

ケアラーを社会的支援の対象と位置付けるのに効果的な、ケアラー支援条例の制定を提言し、本市の考えを問う。

### 答弁 福祉部

本市では、地域福祉計画を始めとする各種福祉計画の中で、ケアラーを

含めた対策を進めている。また、重層的支援体制推進事業の中で、福祉の相談窓口設置やアウトリーチ等を通じた支援等により、相談を丸ごと受け止め、専門機関が連携し、福祉サービスへつなげていく体制を整備してきた。ケアラー支援条例については、先行自治体における条例制定の効果を注視しつつ、まずは、重層的支援体制をより効果的に運用していきたい。

## 倉山 和之

市民フォーラム



- 持続可能な部活動の運営体制

### 質問 地域で支え合う部活動のしくみ構築

休日の部活動指導者をすぐに任用するのは困難であることから、広く人材を集めるため地域団体等との連携の方向性を踏まえて、地域人材の確保とマッチングの仕組み構築に向けた市の考えを問う。

### 答弁 生涯活躍部

地域人材の確保に向けた仕組みの構築については、国の方針や学校・団体等の意向、モデル事業の状況も踏まえつつ、議員による提言の人材バンクも含め、人材を求める団体と指導したい人材をつなげられるものとなるよう、今後も関係団体等と連携していく。

## 根本 美春

諸派



- 新型コロナウイルス感染から命を守る対策
- 災害から命を守るために

### 質問 病床の確保と保健所体制の維持・強化

病床の確保や臨時的医療施設の設置について、愛知県や医師会との連携、協議はどう行われているかを問う。



**質問** 一般質問の小さいテーマ(中項目) **答弁** 回答した部局名  
実際に質問した内容(小項目) 質問に対する市の担当部局の回答

# 一般質問

## 答弁 保健部

新型コロナウイルス感染症における病床の確保や臨時の医療施設の開設など、医療提供体制の整備については、広域で取り組む必要があるため、愛知県が中心となって行っている。本市は、患者を受け入れる医療機関等の確保について、愛知県の方針や要請に基づき、豊田加茂医師会や市内の医療機関等と連携・協力し、取り組んでいく。

## 作元志津夫

市民フォーラム



- 未来へ繋ぐ豊田市の公共交通政策
- ラリーを生かしたまちづくり

## 質問 年間を通じたラリー開催

ラリーを生かしたまちづくりを進めるには、全日本級のモータースポーツを誘致することが必要と考えるが、市の考えを問う。

## 答弁 生涯活躍部

入門編としての「トヨタガズーレーシングラリーチャレンジ」、地方選手権の「シロキヤラリー」の開催が予定されている。「世界ラリー選手権」も開催が予定されていたが、中止が決定した。本年11月13日・14日の2日間、全日本ラリー選手権出場メンバーが多数参加するラリーイベントが開催される予定。このイベントの開催に向け、豊田スタジアムをサービスパークとして提供するなどの協力を行い、今後の「全日本ラリー選手権」の誘致につなげていきたいと考えている。



ラリー選手権イメージ

## 中島竜二

諸派



- 森林の保全と災害に強い森づくり
- 地域共生社会の実現に向けた取組の推進

## 質問 相互理解と意思疎通

相互理解と意思疎通に関する条例による今後の取組について、本市としてどのように考えるかを問う。

## 答弁 総務部

条例の理念に沿った「新しい市役所」の実現に向けて、職員の意識改革と行動変革に取り組んでいきたい。「ユニバーサル市役所とよたガイドライン」を条例の要配慮者の範囲にまで広げて見直し、「やさしい日本語」の研修や市内在住外国人の母国語の挨拶等を紹介する動画の作成、自動翻訳・三者通訳等の拡充を進める。「新しい市役所」の取組と並行して、「相互理解と意思疎通に関する行動計画」に掲載したその他の取組についても、着実に推進していきたい。

## 深谷とおる

自民クラブ



- 指令業務の安定運用と119番受信の高度化
- 食品ロス削減によるごみ減量の更なる定着化
- 早期復旧に向けた災害廃棄物分別処理の取組

## 質問 食品ロス削減全国大会を契機とした率先行動

大会を開催して終わりにするのではなく、食品ロス削減の契機とした。大会のレガシー創出について市の考えを問う。

## 答弁 環境部

大会では、食品ロス削減に向け、生産・加工段階では「良い物を作り無駄をなくす」、流通・販売段階では「連携・交流する」、消費段階では「感謝し、実

践する」という視点が重要であると捉え、生産・流通・消費のサイクルを回していくことが必要との考え方を提言していく。また、消費者である市民が、全ての食品に生産者の思いがあり、感謝するという意識が浸透することにより、食品ロス削減やSDGs達成に向けた行動につながるようにしていきたい。

ミライのフツールをつくらう



未来都市とよた

SDGs未来都市とよたのロゴマーク

## 中村孝浩

市民フォーラム



- アフターコロナを見据えて

## 質問 アフターコロナの社会像を目指して

豊田市の活性化に向け、市政運営をどう進めていくのか。市長が目指すアフターコロナの社会像について問う。

## 答弁 市長

例えば、ステイホームを通して家族のつながりが再認識され、家の内と外とのつながりが再評価されている。地域社会のつながりの在り方を改めて問い直し、再構築・最適化をするチャンスではないかと思う。デジタル社会の進展も追い風として、個人や学校、企業等と新たなつながりの可能性も出てきた。アフターコロナにおいては、新たなつながりが生み出す新しい価値を期待し、「つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた」の将来都市像の実現を市民の皆様と共に推進していきたい。



## 令和3年7月市議会臨時会

令和3年7月16日の1日を会期として開催しました。

一般会計補正予算の1議案を審査し、原案を可決しました。臨時会の内容は、以下のとおりです。

### 市内飲食・宿泊事業者への支援

#### 【議案第90号】 令和3年度一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症により甚大な影響を受けている飲食・宿泊事業者を支援するため、飲食事業支援策として、プレミアム付き飲食券の発行及び電子ポイント還元を活用を行う。また、宿泊事業支援策として、宿泊プラン代金の50パーセントを補助する。

予算決算委員会に付託され審議しました。

#### 質問

飲食券の発行総額を9億円余、プレミアム率を30パーセントとした理由は。

#### 答弁

市内飲食店の通常の売上動向や減収の状況、飲食券利用期間の5か月等を勘案し、売上の3割程度の底上げを目指し、発行総額を9億円余とした。

令和2年度の商品券は小売り全般を対象とし、プレミアム率は20パーセントとしたが、今回は対象を新型コロナウイルスの影響が大きい飲食事業者としたため、専門家のアドバイスも受け、より利用者の満足度が得られるよう、プレミアム率を30パーセントとした。



応援飲食券ポスター



### 議案審議結果

※議案名など一部省略して記載しています

#### 7月市議会臨時会に付された案件

採決結果	会派別賛否			
	自民クラブ 27名	市民フォーラム 10名	公明党 4名	諸派 3名
賛成	反対	賛成	反対	賛成
		賛成	反対	賛成

#### ◆議案

第90号 令和3年度一般会計補正予算

原案可決 **26 0 10 0 4 0 3 0**

### 市議会の予定

## 12月市議会定例会は、12月3日(金)開会予定です

### ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

#### 豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)

### ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp/>

豊田市議会 検索 「動画で見る代表・一般質問」をクリック!



「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から閲覧できるようになりました。

※パケット通信が必要になりますので、携帯端末等での視聴はWi-Fi環境をおすすめいたします。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継  
チャンネル/78.6MHz



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と植物油インキを採用しています。

※この冊子は、折込み「9月市議会定例会号」です。